

理化学研究所  
革新知能統合研究(AIP)センター  
**社会における人工知能研究  
グループの取り組み**

グループディレクター 中川裕志



<https://aip.riken.jp/>



# AIPセンターの研究体制

センター長  
杉山 将  
副センター長  
上田修功, 岡谷重雄

特別顧問  
金出武雄, 合原一幸,  
川人光男, 喜連川優

センター長室  
(コーディネーター)  
中村伊知也, 高橋玲,  
吉戸智明, 山野 真裕

汎用基盤技術  
研究グループ  
(21チーム)  
ディレクター: 杉山 将

目的指向基盤技術  
研究グループ  
(24チーム)  
ディレクター: 上田修功

社会における人工知能  
研究グループ  
(7チーム)  
ディレクター: 中川裕志

# 社会グループの目標・戦略

- 理研AIPに所属するAI技術、人文科学、社会科学の研究者が共同して以下の研究を行う
  - 人工知能倫理、法制度、個人データの流通、プライバシー保護、に関する問題への対応などを通して、以下を行う
    - 人工知能の社会的影響の分析と提言
    - 人工知能応用技術の開発
  - 上記の成果のグローバルな議論と情報発信を行う。

# 社会Gの体制

2020.1.1現在  
リーダー:7名  
常勤研究員:6名



AI社会を支える  
AI倫理



AIが利活用される  
法制度の実現へ  
向けての提案

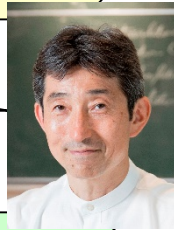
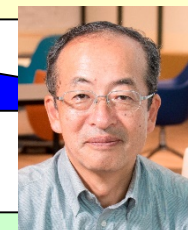


プライバシー保護  
された個人データ  
利活用システム試作

社会問題解決方策の提案



国内外の法制度の分析と  
法学専門家による理論化



AIと人間の関係の  
分析と個人情報  
の流通と利活用方法



# 社会Gの主な成果

- ◆人工知能倫理指針の分析と策定への寄与
- ◆人工知能倫理テストシステムの開発
- ◆プライバシー保護技術の実用化コンテスト:PWSCUP2019開催
- ◆データ流通システムPLRの実装と社会での応用開始
- ◆文化的ないし哲学的背景に基づく人工知能倫理の分析
- ◆情報法の観点からの現状分析と法制度提言

# 外部発表

- ◆ IEEE Ethically Aligned Design(EAD) 1<sup>st</sup> edition(final) , Chap. Data Agencyの執筆に寄与
- ◆ 内閣府 人間中心のAI社会原則の執筆(部分)
- ◆ 人間工学の国際規格であるISO/TR 9241-810: Ergonomics 採択
  - 論文: AI & Society (Altmetrics全世界の全分野の全論文 12,698,697件の中でtop 10%)
  - ICML2019, AIES(AAAI&ACM),ISSID2019,Neurosci2019, Paragrana, etc.
  - 書籍: AI社会の歩き方(化学同人)、AI時代の自律性(勁草書房)、裏側から視るAI(近代科学社)、個人情報保護法のしくみ(商事法務)、先端技術と規制の公法学(有斐閣)、など多数
  - 主催会議:「機械学習と公平性シンポジウム」など

# 社会Gのまとめ

- ◆ 国内外のAI倫理指針策定に寄与
  - ◆ G20への提案、標準化への展開
- ◆ AI倫理の理論研究
  - ◆ 国際論文の発表、著書
  - ◆ 公平性シンポジウム等の開催
- ◆ プライバシー保護に関して
  - ◆ PWSCUP、ICMLなど技術展開
  - ◆ 法制度の調査、分析と個人情報保護法改正への提言
- ◆ PLR(Personal Life Repository)の実社会での普及と実使用実験

# グループの将来課題

- AI技術が社会的広がり起因する倫理的、法的、社会的問題に関する検討および社会での実現方法
- 焦点トピック:
  - 出そろったAI 倫理指針の実装方法の検討
  - 人間とAIのインタラクション
  - プライバシー保護とパーソナルデータの利活用
  - 社会におけるAIに関連する法的問題の分析と提言
- 新たに見出したトピック
  - AIと文化的背景
  - パーソナルAIエージェント
  - 死後のデジタル遺産の技術的、法的扱い